

近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所
資 料 配 付

配布日時	平成19年 6月12日 14時00分
------	-----------------------

件 名	「紀の川大橋橋梁拡幅工事周辺における地下水噴出に関する対策検討会」(第2回)の開催について
-----	---

概 要	<p>国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所は、「紀の川大橋橋梁拡幅工事周辺における地下水噴出に関する対策検討会」(第2回)を、平成19年6月15日(金)に開催します。</p> <p>開催時間 14:00～16:00 開催場所 ホテルアパローム紀の国「鳳凰の間(西)」 検討会会場への入室は開会時のみとさせていただきます。 ただし、検討会終了後、記者会見を予定しています。</p>
-----	---

取り扱い	_____
------	-------

配布場所	和歌山県政記者クラブ 和歌山県地方新聞記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ
------	---

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 副所長 木村 是一 事業対策官 大下 正和 TEL 073-424-2471(代表)(内線205、208)
------	---

紀の川大橋橋梁拡幅工事周辺における地下水噴出に関する対策検討会
(第2回)

～ 取材の方へのお知らせとお願い ～

第2回検討会

日 時：平成19年6月15日(金) 14:00～16:00

場 所：ホテルアバローム紀の国 2F「鳳凰の間(西)」
和歌山市湊通丁北2-1-2
TEL 073-436-1200

議 題(予定)

1. 現地調査結果
2. 空気、水噴出の因果関係とメカニズム
3. その他

検討会の傍聴について

一般傍聴はできません。

報道取材へのお願い

当日は、必ず受付で会社名・氏名をご記入下さい。

検討会会場への入室は開会時のみとさせて頂き、退室をお願いします。

検討会終了後、記者会見を予定しています。

紀の川大橋橋梁拡幅工事周辺における 地下水噴出に関する対策検討会(名簿)

委員名簿

委員	氏名	所属・専攻等
委員長	おおにし ゆうぞう 大西 有三	京都大学大学院工学研究科 都市環境工学専攻 ジオフロント環境工学 教授
委員	にしがき まこと 西垣 誠	岡山大学大学院環境学研究科 資源環境学専攻 廃棄物マネジメント学(地圏環境評価学) 教授
委員	ささき せいいち 佐々木 清一	和歌山工業高等専門学校 環境都市工学科 土質力学 教授
委員	こはし ひでとし 小橋 秀俊	独立行政法人土木研究所 材料地盤研究グループ(土質) 上席研究員
委員	おおした たけし 大下 武志	独立行政法人土木研究所 技術推進本部(施工技術) 主席研究員
委員	くわじま ひでつぐ 桑島 偉倫	国土交通省和歌山河川国道事務所 事務所長

「紀の川大橋橋梁拡幅工事周辺における地下水噴出に関する対策検討会」(第1回)の概要

1. 日 時：平成19年4月28日(土)

14:00～15:00 事前現地視察

場所)和歌山市中州地先周辺他

15:30～17:30 検討会

場所)ホテルグランヴィア和歌山

6F「ル・グランB」

和歌山市友田町5丁目18番地

TEL 073-425-3333

2. 出席者：

委員名簿参照

3. 議 事：

1. 工事の概要

2. 空気と水の噴出状況

3. 原因の究明

4. その他

4. 審議概要：

本地域は、河道変遷の影響を受けた極めて複雑な地質地層構造である。

工事現場から約400m離れた場所で水が噴出したメカニズムを究明するためには、さらに調査が必要である。

ケーソン工事が影響していることが考えられる。

地盤沈下、地盤変動の可能性は少ない。

噴出した土砂の成分を詳細に調べるなど被害家屋の井戸の状況を調べる必要がある。多数の井戸があり塩分濃度の分布が非常に複雑であるので、地下水の流れを把握するための調査・検討が必要である。

塩分濃度の連続観測が必要である。

堤内の地質調査を追加して地層分布図を作成する。

護岸工については、今回の事象とは関係が認められないことと、出水期対策として直ちに復旧すべきである。

工事再開には、原因の究明と地域住民の方々の安全を考慮した検討が必要である。